

第4回デザインアワードの報道



記念撮影する山下会長(左端)、橋本会長(右から3人目)と受賞者

最優秀賞は柏谷香菜子さん

金市工高でデザインアワード表彰式

金沢建設業協会

金沢建設業協会(橋本和雄会長)は21日、第4回デザインアワードの表彰式を金沢市の金沢市立工業高校で行い、同校建築科3年生の柏谷香菜子

さんが最優秀賞を受賞するなど4名の受賞者が表彰された。

デザインアワードは、金沢市立工業高校建築科3年生の卒業制作として設計の課題を与え、「ものづくり」の楽しき、素晴らしさ、難しさや大きさを感じてもらうとともに、自分が設計した作品への思いや考え方を第三者に伝える機会の提供の場として実施されているもの。

今回はトイレの設計を

課題に生徒からデザインを募り、プレゼンテーション、審査を経て受賞者が決定した。

表彰式では、橋本会長が「今回も、甲乙付け難い優秀な作品ばかりで、年々充実してきているようと思われる。皆さんはこの春卒業されるわけだが、せっかく身に付けた知識、技術を生かすためにも、建設業界を離れることのないようにお願い

したい」といさつ。続いて、橋本会長、山下憲三金沢市工匠会会長から受賞者に賞状と図書券が贈呈され、受賞者が一人ずつ「先生方や仲間に感謝したいなどと喜びの言葉を述べた。

この後、来賓の鶴見智厚金沢市土木局営繕課課長補佐が「トイレはコンパクトな設計が要求され、コストやメンテナンス、使いやすさなどいろいろなことが求められる。審査をさせていただき、レベルの高さに圧倒された。卒業後も自信を持って、次の道に進んでいかれることを期待している」、山下会長が「サインについて、どの作品もしっかりしたコンセプトでデザインされていました。私も卒業生だが、皆さん誇りを持って、世の中で建築を学んでほしい。今後も建築を好きになって、興味を持ち続けていただきたい」と講評と祝辞を述べた。

最後に、小酒正明同校校長が「課題を解決することで、新たな知識を身に付ける機会を与えていたい」とお礼のあいさつを行った。

受賞者は次の皆さん。
△最優秀賞=柏谷香菜子
△優秀賞=米村侑佳作
△小幡祐香子△特別賞=関若菜